



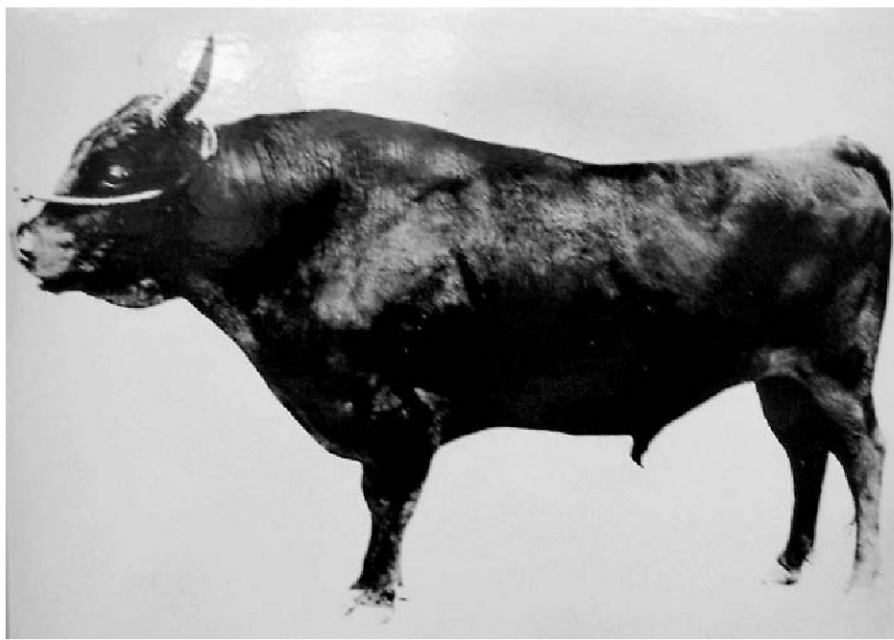
渡辺 大直

明けましておめでとござ
います。本年もどうぞよろ
しくお願いします。

但馬牛博物館は1994年
に但馬牧場公園の施設として
開館した。以来、開館当時の
エース種雄牛谷福土井の剥製
や但馬各地にある但馬牛の碑
の拓本を加えたが、展示物は
開館当時のまま変わってい
ない。造り付けの大型展示が大
部分で、更新できず、20年余
りが過ぎてしまった。

来館者の皆さんは、「いつ
来ても同じ」という印象しか
持たれなかっただろう。そし
てなにより、現在の但馬牛に
関する展示が無い。
「但馬牛は昔から優れてい
て、それを守っているのでは
ないのか?」と思われるかも
ない。

来館される方の中には、役
牛として使った昔を懐かしむ
方もあれば、神戸ビーフや松
阪牛といったブランド牛肉と
の関係を探ねられることもあ
る。また、美味しきや飼い方
育種改良などに関する新しい



黒毛和牛のほとんど全てに遺伝子を伝えているといわれる「田尻」

像だ。

田尻は現在の黒毛和牛のほ
んど全てにその遺伝子を伝
えているといわれるゴッドフ
アーザーだが、この像に映し
出す映像は、いくつかのテー
マの中から来館者が「知りた
いニーズ」に合わせて選択で
きる。

この他にも「牛」のつく漢
字遊びや但馬ビーフパズルな
ど、子供たちが遊びながら牛
に親しめるプレーコーナーを
つくることにした。そして展
示物を入れ替えしやすくし、
但馬牛の歴史や改良の足跡な
どの展示には、絵や写真を使
いわかりやすくする工夫をし
ている。

4月の開館、乞うご期待。

■筆者プロフィール■

わたなべ・ひろなお
1954年、新温泉町浜
坂出身。県職員として
畜産行政に長年携わっ
てきた。県立但馬牧場
公園「但馬牛博物館」
館長。

リニューアルで「知りたいニーズ」対応